

東日本旅客鉄道労働組合

東京都渋谷区代々木2丁目2番6号

JR新宿ビル13F 〒151-8512

Tel. 03-3375-5740 (代)

発行責任者 古川建三

# JR東労組

# 本部OB会 ニュース

No. 199 2014年5月発行

## レク活動の活発化と「たしる議員激励ツアー」、「営業職場OB交流会」の成功をめざす、 “生涯労働者”の熱い想いを確認！

## JR東労組本部OB会 第18回定期総会を開催

桜前線が東北地方を向う4月11日、JR東労組本部大会議室で「JR東労組OB会第18回定期総会」が開催されました。

この定期総会には、各地本OB会の59名の委員と地本OB会担当者はじめ、来賓の石井本部副委員長、たしる議員、JR総連OB連絡会の田中副会長など、約100名が参加しました。

冒頭あいさつに立った古川会長は、「今日の安倍政権の戦争の出来る国づくりの危険性」と「大震災から一向に復興、出来ない被災地と福島原発事故の被災者を、出来る限りこれからも支援すること」を熱く語ると共に、「エルダーをはじめとするOB会組織の強化拡大」「全職種にOB会組織を確立する」決意の挨拶が述べられました。来賓の石井副委員長からは、14春闘を始め東労組を取り巻く状況と課題が、またたしる議員からは、安倍政権との闘いなどの国会情勢が、さらにJR総連OB連絡会からも連帯して闘っていく決意がそれぞれ語られました。

その後役員会側から「経過と方針」の提起を受け、質疑討論に入りました。質疑討論では12名の委員から発言があり、方針に肉付けされました。



古川会長による団結ガンパロー

主な発言の要点は次の通りです。

- OB会員は健康が第一だ。
- 被災者支援と被災地の現状報告。
- たしる後援会加入の取り組みに力を入れていく。
- たしる議員激励と国会見学を実施して、大変評判が良かった。
- 石綿問題は今後も継続して欲しい。
- 県高退連との連携を強化した。
- エルダー会員を含めたOB会組織の強化が必要だ。
- OB会のレクや日常活動が少しずつ前進している。
- 地域での活動報告
- OB会は、現役の協力が要だ。
- 工務OBを組織強化する予定だ。

こうした各委員の熱い想いを受けて役員会側より総括的に①健康退連とのかかわりを強める ②健康問題の大切さに踏まえ、レク活動の活発化をはかる ③ たしる議員激励と国会見学ツアーを成功させる ④ 営業職場OBの交流を成功させようとの答弁があり、方針が承認されました。

総会は新役員の選出を行なった後、情報紙発行で5機関を表彰しました。

### 御 礼

「本部OB会ニュース・2月号」で、呼びかけをさせて頂いた「たしるかおる後援会」の加入行動に多くのOB会員のご協力を頂きました。大変ありがとうございました。これからもたしる議員の活動を支援して行きましょう。



お礼の謝辞をのべる石井さん(左)と大熊さん(右)

その後長年本部OB会活動を担ってこられた大熊元会長と今回退任した石井事務局長に感謝状が送られました。総会後は会場を移し、全体で懇親を深めながら、新年度のOB会活動の奮闘を誓い合いました。

### 活発な議論をOB会活動に反映を

第18回定期総会は、委員の活発な議論により成功しました。多くの課題を抱えながらも、OB会員が元気に活動し、「生涯労働者」の気概を胸に、お互いが今後の活動に反映することを確認した総会でした。

### 2014年度新役員体制

顧問	大熊勝明 (東京)
会長	古川建三 (仙台)
副会長	佐々木源幸 (盛岡)
	島崎 明 (東京)
	戸谷富男 (大宮)
	竹島敏博 (長野)
事務局長	伊藤義男 (東京)
事務局次長	本田祥章 (八王子)
	川崎昭雄 (東京)
	植松 健 (八王子)
	君塚敏男 (本部)
会計監査員	岸 史朗 (横浜)
	森 泰克 (大宮)

今年度もOB会活動を宜しく  
お願いします

# 大震災から三年の歳月が流れて

## 仮設住宅生活の小林さんからの報告

二〇一二年三月十一日、あの忌まわしい東日本大震災から、三年の歳月が流れました。あの津波によって多くの犠牲者が出て、未だ見つからない行方不明の方々がおられます。心から「冥福をお祈りします」。

歳月の流れは早いもので、被災後の「仮設住宅生活」も三年が過ぎました。三年が過ぎてやっと街の瓦礫もなくなり、復旧復興の雑音は聞こえるもの、災害住宅や個々の土地の借換地の見通しは、まだまだ立っていません。私の住んでいる仮設住宅の住民も、先行きの見通しが立たない不安と焦りの中で生活しています。特に高齢者の方々が「仮設の中で死にたくない」と話しているのを聞くと、身につまされます。

### 行政と自治会の狭間で

私は三年の歳月の中で、行政と自治会の狭間に立って、これは「県の意見を聞かない」とか、これは「市の仕事ですから」といちいち上部へお伺いを立てないと、物事が始まらないことを体験しました。ある時、仮設住宅で、体調を崩した高齢者がいて、救急車の手配をしようとしたら、「上部の指示を得てから」といわれましたが、「私が責任を取るから」と云って救急車の手配をしたことがありました。後で責任者がお詫びに來ましたが、本当に縦割り行政は、責任を取らない割には制約をするのが多いのです。

### 仮設の自治会長として

私は、仮設住宅の自治会長として、その責任と職務を全うする努力をしてきました。仮設住宅には、各団体のイベントが目白押しに來ています。

### 今でも夢にわが家が

三年たった今でも、私は時々津波で流されたわが家の夢を見る事があります。「新築したい」と思いを馳せて十年、何となく設計図を描き、37歳でやっと借金して念願のマイホームを建て、自慢の家で妻と一生住むつもりでした。その家を、東日本大震災の大津波で、66歳の時に一瞬にして失ったのです。「悔しい」と「やり場のない怒り」を、何にぶつけたらいいのでしょうか・・・。

### 趣味の盆栽で生き甲斐を

下一品で、プロも舌を巻く程との評判です。踊っている時の顔は、誰が見てもまさに大黒様そのものです。



今年70歳の古稀を迎えますが、そんな年齢を感じさせずこれから、大黒様の笑顔で、踊り続ける姿を、こちらで見かける事があるでしょう。その時は是非大きな拍手をどうぞ。

(北上市在住・菊池清五・69歳)

## 古稀を迎える大黒様

今月は盛岡地本北上支部OB会の三代目会長の菊池清五

る「みちのく芸能まつり」には、子供神輿の作成にはそれこそ力を入れ、地域住民から一目置かれる存在になっています。また、北上の東地区の交通安全協会の支部長としても、住民の交通安全に気を配っています。

さてここまでは序の口で、本当に紹介したいのは別の顔です。それは地域はもとより、声が掛ければどこにでも馳せ参じ、手作りの衣装で大黒舞と鬼剣舞を踊ることです。特に大黒舞は天



今年70歳の古稀を迎えますが、そんな年齢を感じさせずこれから、大黒様の笑顔で、踊り続ける姿を、こちらで見かける事があるでしょう。その時は是非大きな拍手をどうぞ。

(北上市在住・菊池清五・69歳)

## 大宮で花見の会盛大に開催

快晴の4月5日、10時30分に土呂駅に集合した約100名の参加者は、1時間ほどウオーキングした後、埼玉市民の森で、満開の桜に酔いしれました。アルコールが不足するほどの勢いを感じるものでした。

激励には、清水地本副委員長、本部OB会本田副会長、埼玉高退連(シニヤ会)の倉田幹事と田中幹事、自然と人間社加藤顧問、美世志会の梁次氏の皆さまに参加していただきました。

今日の安倍政権による戦争の出来る国づくりに反対し、憲法9条を守り広める闘いをはじめ、OBとしての闘いを現役の仲間と共に連帯して取り組む決意を、各位から受けました。当面たしる後援会の取り組みを確認しました。昨年に引き続き、工務の仲間も20名が参加し、宴を盛り上げてくれました。

他の地本OB会でも、花見の会が開催されています。横浜地本OB会は、4月5日柏尾川河畔で開催し、その場にはたしる事務所の佐々木秘書も参加されました。

また、東京地本エルダール主催の花見が、4月12日飛鳥山公園で開催され、多くのOB会員も参加し、花見を盛り上げました。



私は今、生涯の趣味として、盆栽や山野草を育てることの喜びを心の拠り所にして、自分を勇気づけ前向きに生きています。もし私にこの「生涯の趣味」が無かったら、仮設住宅の生活の中で何を抛り所に生きてこれたのだろうか・・・。もしかしら酒に溺れ、妻にあたり散らし、将来への展望や夢も持たず、虚しい生活をしていたのではないかと思います。私は趣味のおかげで仲間も出来、夢と希望を抱きながら、対外的な役職も「責任と行動力」で出来るのだと自分に言い聞かせて生活しています。

(盛岡地本OB会・小林 一二三)

## 復興の集い・追悼式開催

3月11日、米沢で東日本大震災復興記念事業が行なわれました。1月24日の準備会で米沢地区OB会も構成団体として入り、副実行委員長になりました。3月4日の事前委員会でも、復興のついでに追悼式は「元氣・希望・風化させるな」復興の力キを握るのは山形」のコンセプトで伝国の社で開催することになりました。当日は会員5名がスタッフとして奮闘、400余名の人達が集まりました。



第一部は「コンサート」

第二部は「追悼式」

第三部は「大抽選会」

で盛り上がりました。

米沢地区OB会は、今後原発避難者も支援します。